

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和市西鶴間児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター西鶴間会館管理運営委員会 会長 芝原 重喜
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
西鶴間	386	7,815	601	455	9,257	31	304

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
一年生歓迎会	4/16	21人
子どもの日工作（こいのたきのぼり作り）	5/3～5	23人
母の日工作（プラバンで作るストラップ）	5/7・8	21人
父の日工作（アイスクリームのペン立て）	6/17・18	29人
七夕工作（笹飾り作成）	6/28～7/1	53人
七夕のつどい（こども部会共催・バルーンアート他）	7/2	58人
安全安心子ども映画会	7/26	67人
夏休みミニ工作（ミサンガ・くるりんブレスレット他）	夏休み中随時	208人
夏休み工作（きらきらアクアドーム）	8/23・24	33人
お月見団子作り	9/10	10人
子ども川柳大会	11/3～9	12人
クリスマス会（こども部会共催・パネルシアター他）	12/17	47人
伝承あそび（かるた・独楽・双六・福笑い他）	1月中	66人
ひなまつり工作（アイロンビーズのおひなさま）	2/18～3/3	51人
ひなまつり会（映画会）	2/25	66人
卓球大会	3/30	37人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,216,708
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	233,656
収入計 (①)	2,514,000	支出計 (②)	2,450,364
収支決算	63,636		

※収支差額 63,636 円は、平成 29 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 29 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 28 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 児童館利用の人数が 3 年連続で前年を超え、前年比 112.7%と増加したことは高く評価します。 「スタッフの対応」について、利用者アンケート回答者の 100.0% (前年：94.0%) が「よい」～「ふつう」と回答しており、改善の努力の結果、更に高い水準を維持している点を評価します。成果のあった取り組みについて振り返り、更なる発展に活かしてください。 日頃の事業については、年 5～6 回「児童館だより」の発行や児童館のホームページを定期的に更新する等、幅広く事業を周知させ、サービス向上に取り組んでいる点を評価します。
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 季節に合わせた行事や昔からの伝承行事等、日本の風土や歴史について学ぶ機会を与え、利用者が継続的に参加できる工夫もされている点は高く評価します。 利用者アンケートにおいて、児童館で楽しみにしていることとして、「イベントやゲーム」と回答した回答者の割合は 44.0% (全館平均 30.0%) と市内で最も高い結果です。自主事業の企画内容や成果等について、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを期待します。 他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童が主体的に運営、企画、準備などに係ることのできる場の創出についても検討する等、児童に様々な体験の機会を与えられるような、企画の広がりを期待します。
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。今後は、利用者に対し、物を大事にする姿勢等の生活指導に関する取り組みの拡大を期待します。
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。